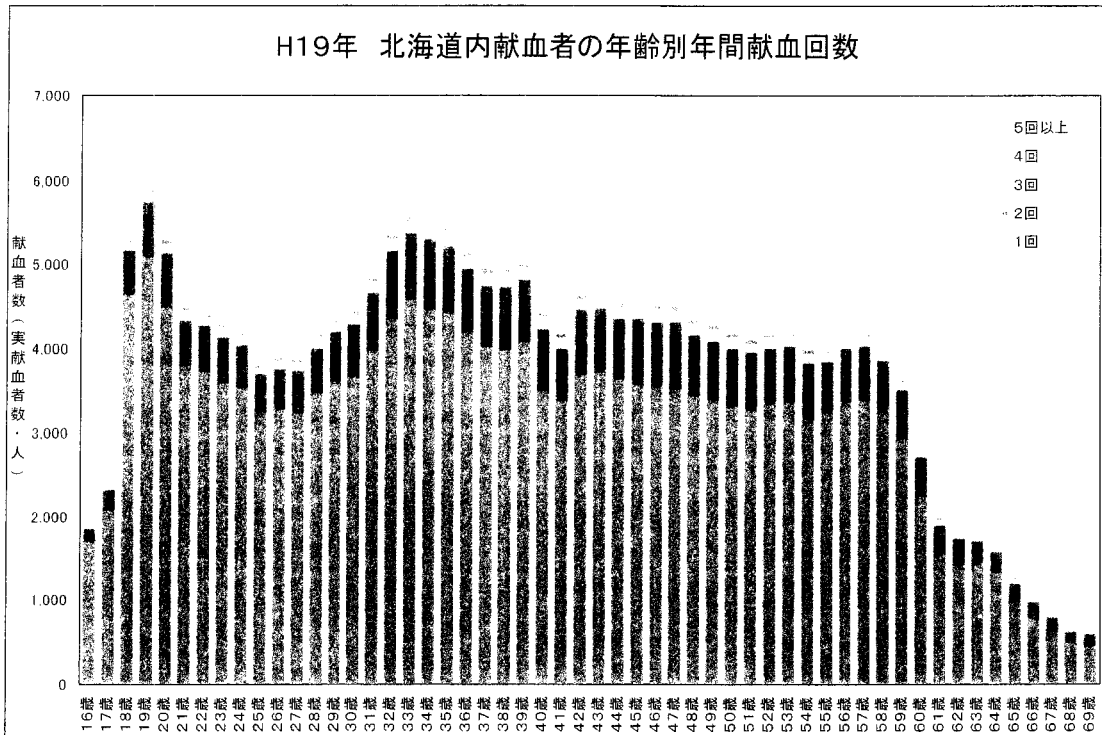
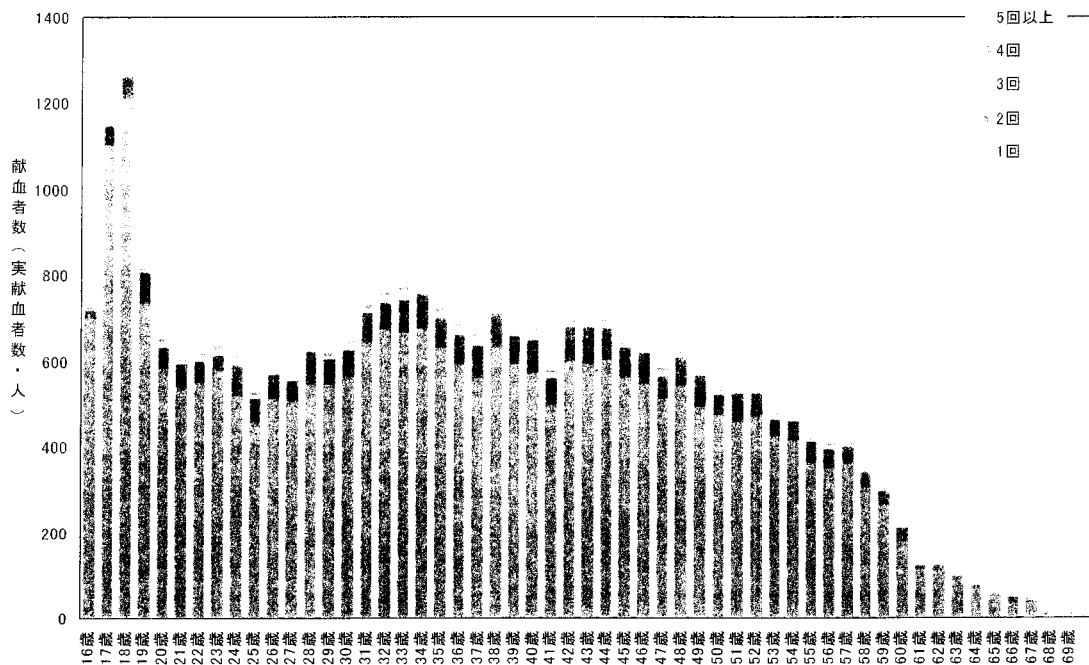


年齢別献血者実数グラフ（年間献血回数別【6都道府県抜粋】）



- 実総献血者数  
211,546人
- 年齢別に見る実献血者数  
18～20歳と30歳代前半にピークがあるが、他の年齢層との差は比較的小さい。  
40歳代以降の減少が比較的緩やか。
- 献血回数の傾向  
献血者（1回）に対する献血者（2回）の割合は10～35%で、特に40歳以降の全年齢で19%以上となっている。他都府県と比較して全年齢を通じて高い傾向。

H19年 山形県内献血者の年齢別年間献血回数



● 実総献血者数

29,341人

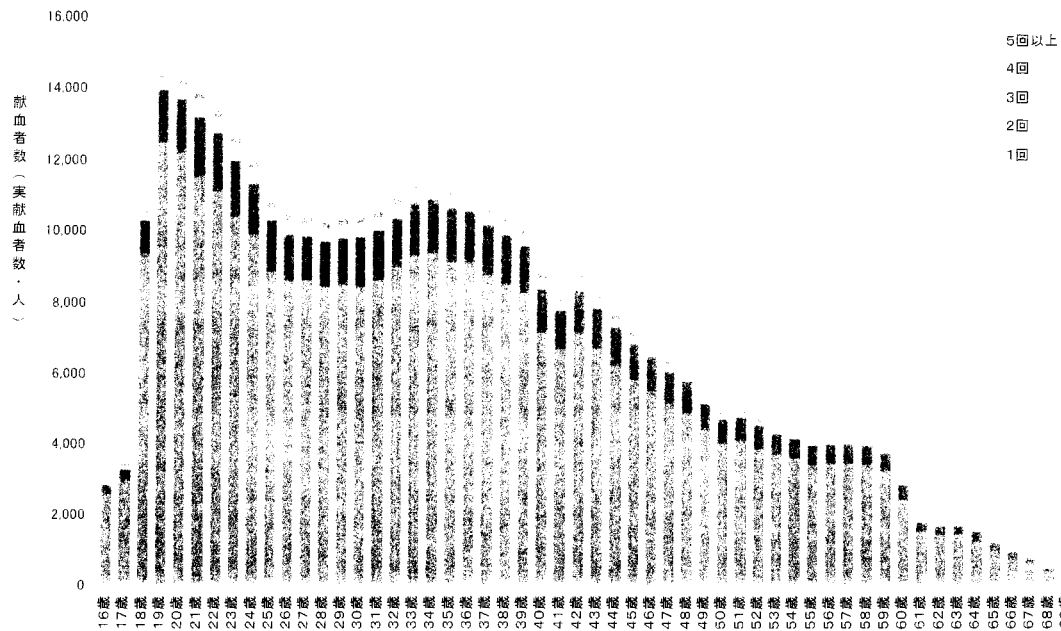
● 年齢別に見る実献血者数

17、18歳に顕著なピークがあり、その後大きく減少。30歳代前半に緩やかな第二のピークが見られる。

● 献血回数の傾向

献血者（1回）に対する献血者（2回）の割合は、全年齢を通じてほぼ10～15%だが、37歳及び40歳代で他の年齢よりやや高めの傾向（13～15%）。

H19年 東京都内献血者の年齢別年間献血回数



● 実総献血者数

396,666人

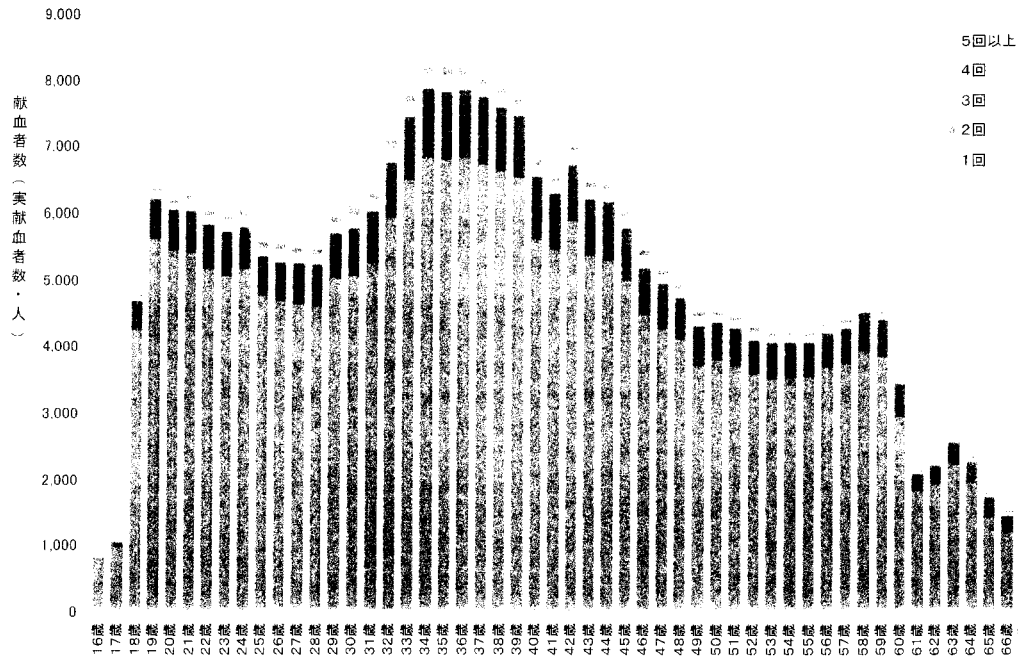
● 年齢別に見る実献血者数

19歳をピークに減少するが減り方は緩やか。30歳代前半に緩やかな第二のピークが見られる。若年層の献血者の絶対数が多い。

● 献血回数の傾向

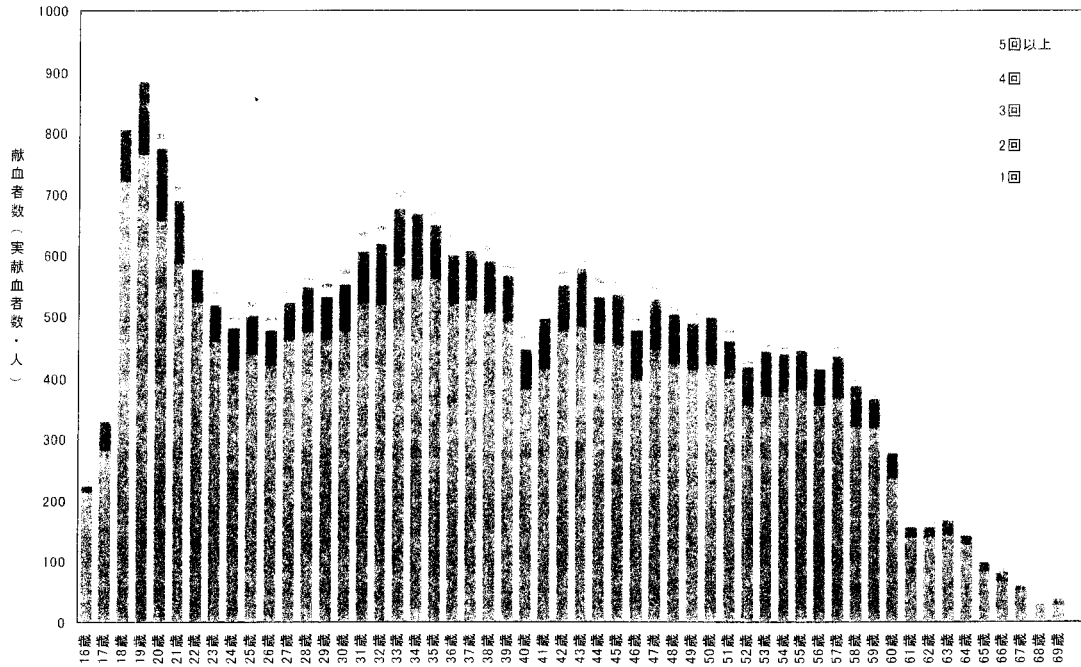
献血者（1回）に対する献血者（2回）の割合は、22歳以上のほぼ全年齢で15%以上。また、全年齢を通じて10%を割り込まない。

H19年 大阪府内献血者の年齢別年間献血回数



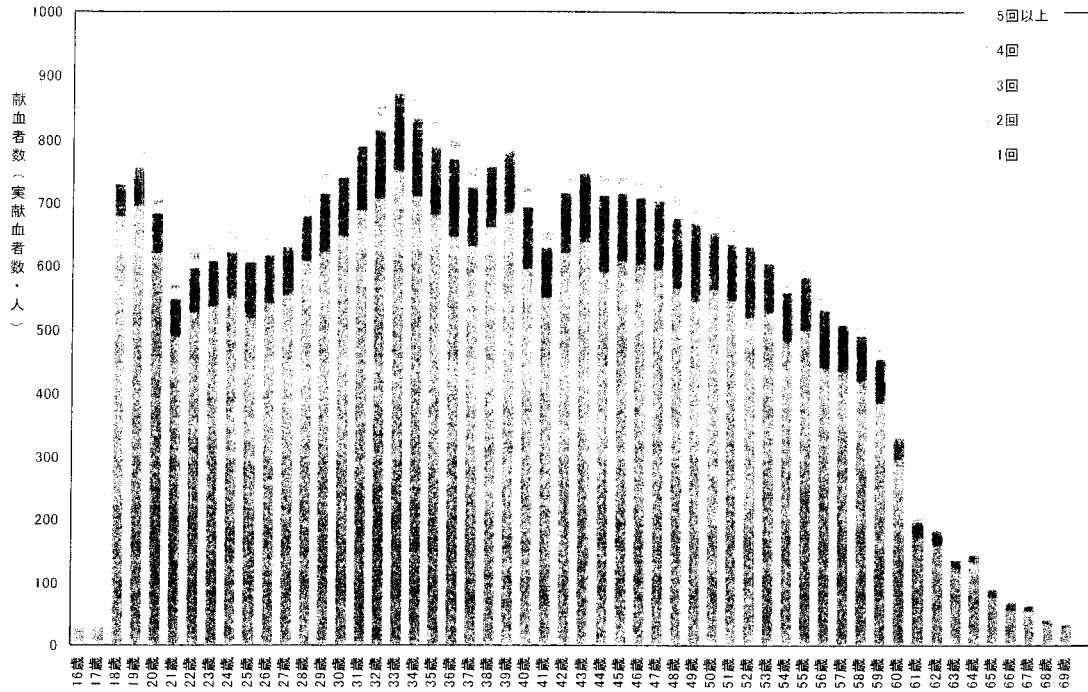
- 実総献血者数  
275,361人
- 年齢別に見る実献血者数  
18、19歳に他の都道府県のようなピークが見られず、33～39歳に顕著なピークがある。
- 献血回数の傾向  
献血者(1回)に対する献血者(2回)の割合は、全年齢を通じてほぼ10～17%。

### H19年 高知県内献血者の年齢別年間献血回数



- 実総献血者数  
26,092人
- 年齢別に見る実献血者数  
19歳にピークがあり、その後減少。30歳代前半に第二のピークがある。
- 献血回数の傾向  
献血者(1回)に対する献血者(2回)の割合は、全年齢を通じてほぼ15~20%。

H19年 宮崎県内献血者の年齢別年間献血回数



● 実総献血者数

31,579人

● 年齢別に見る実献血者数

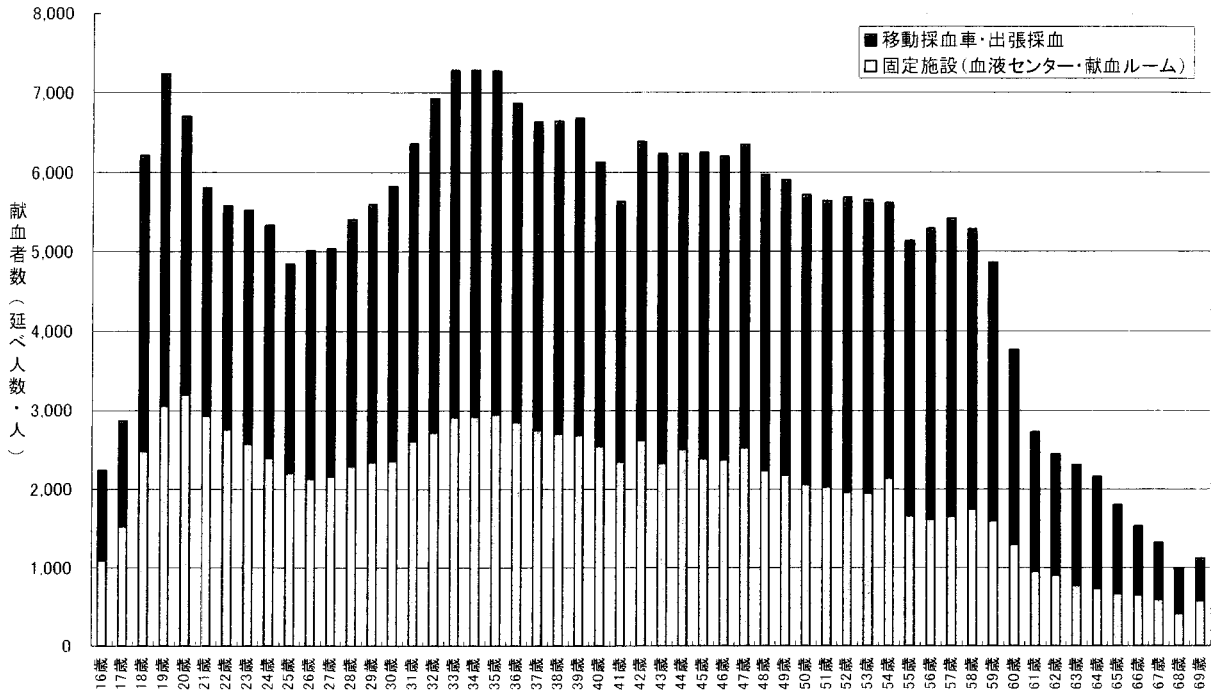
16、17歳が極端に少ない。18、19歳と30歳代前半にピークがあるが、他の年齢層との差は比較的小さい。

● 献血回数の傾向

献血者（1回）に対する献血者（2回）の割合は、20歳代でほぼ10～15%。30歳以上でほぼ15～20%。

年齢別・施設別延べ献血者数グラフ【6都道府県抜粋】

H19年 北海道内の施設別献血者数



● 延べ総献血者数 276,823人

移動採血車・出張採血 166,157人（60.0%）

固定施設（血液センター・献血ルーム）110,644人（40.0%）

● 年齢別に見る施設別献血者数

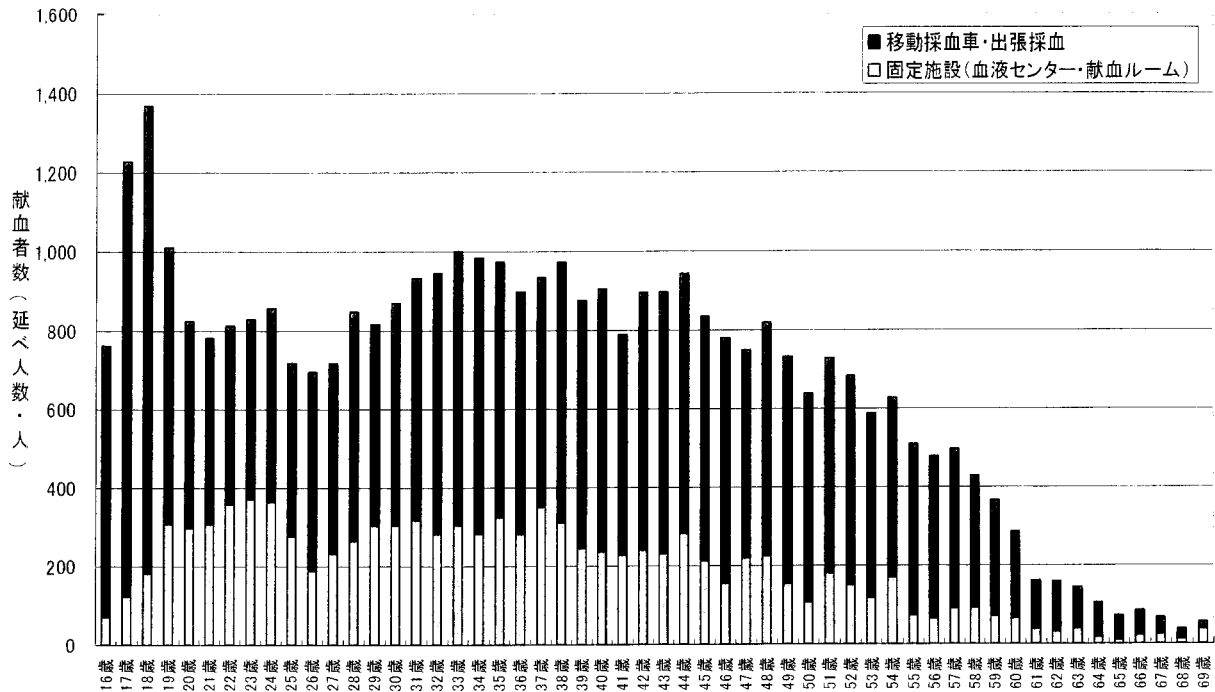
16～23歳は18、19歳を除き固定施設の割合がおおむね50%前後だが、18、19歳と20歳代後半～68歳は移動採血車・出張採血の割合が60～70%。

● 血液センター、献血ルーム数（平成20年4月1日現在）

血液センター：5カ所

献血ルーム：6カ所

H19年 山形県内の施設別献血者数



● 延べ献血者数 36,705人

移動採血車・出張採血 26,395人（71.9%）

固定施設（血液センター・献血ルーム）10,295人（28.1%）

● 年齢別に見る施設別献血者数

20歳代前半を除き、移動採血車・出張採血の割合が65～90%。

中でも16～18歳と50歳代後半～60歳代前半に移動採血車・出張採血の割合の高い年齢層（80～90%）が見られる。

20～25歳は、他の年齢に比べて移動採血車・出張採血の割合が55～63%とやや低くなっている。

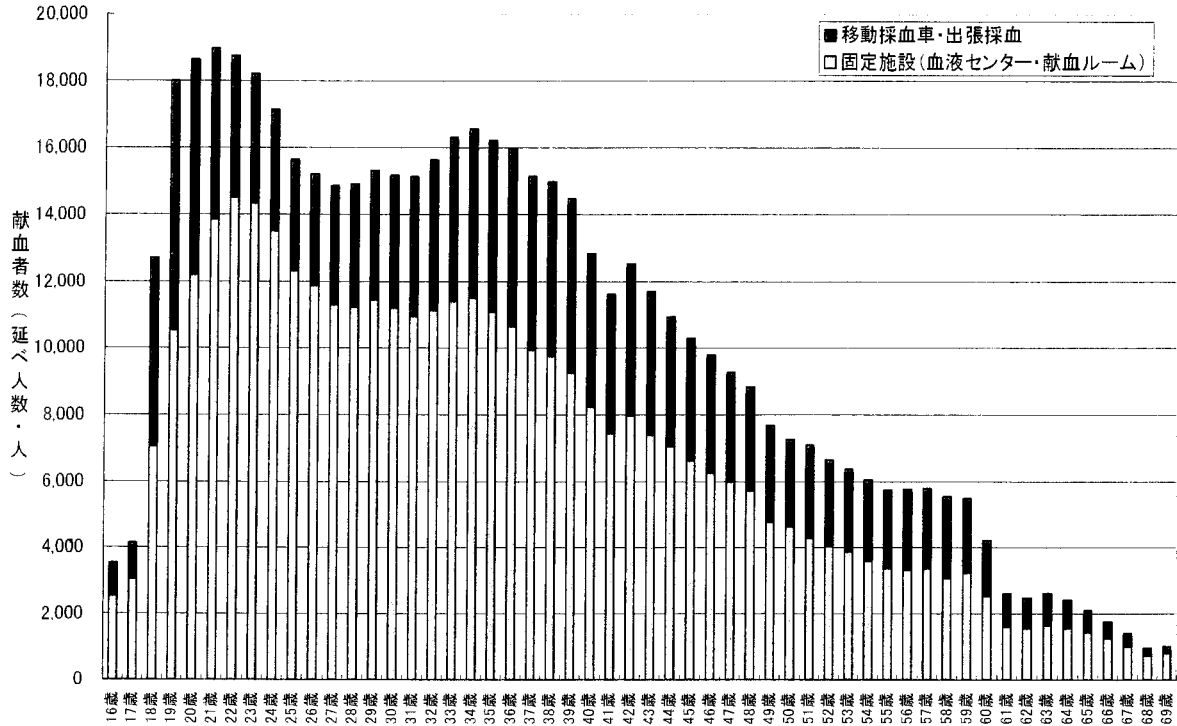
● 血液センター、献血ルーム数（平成20年4月1日現在）

血液センター：1カ所

献血ルーム：1カ所



H19年 東京都内の施設別献血者数



● 延べ献血者数 550,525人

移動採血車・出張採血 175,198人 (31.8%)

固定施設 (血液センター・献血ルーム) 375,291人 (68.2%)

● 年齢別に見る施設別献血者数

全年齢を通して固定施設の割合が55%を超えており、特に16、17歳、20歳代前半～30歳代前半、60歳代後半は固定施設の割合が70%超と高い。

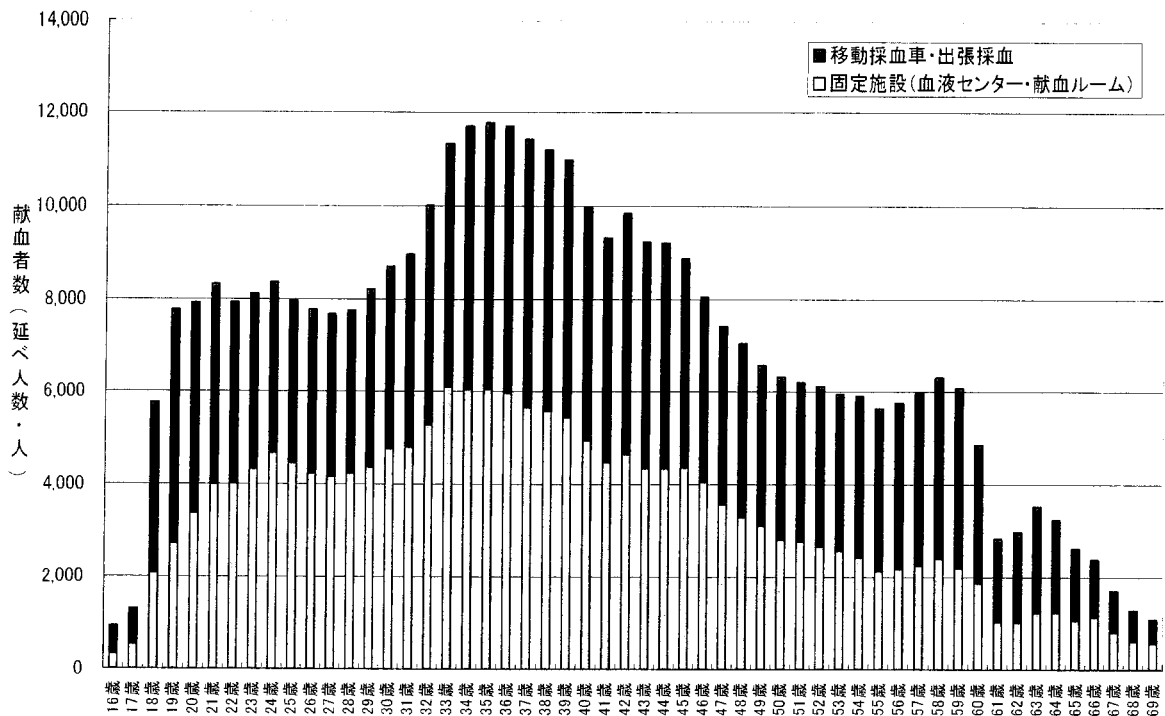
一方、18、19歳と50歳代後半は固定施設の割合が55～59%とやや低い。

● 血液センター、献血ルーム数 (平成20年4月1日現在)

血液センター : 2カ所

献血ルーム : 12カ所

H19年 大阪府内の施設別献血者数



● 延べ献血者数 375,972人

移動採血車・出張採血 196,259人(52.2%)

固定施設(血液センター・献血ルーム) 179,688人(47.8%)

● 年齢別に見る施設別献血者数

20歳代～30歳代前半と69歳は固定施設の割合が50～56%。

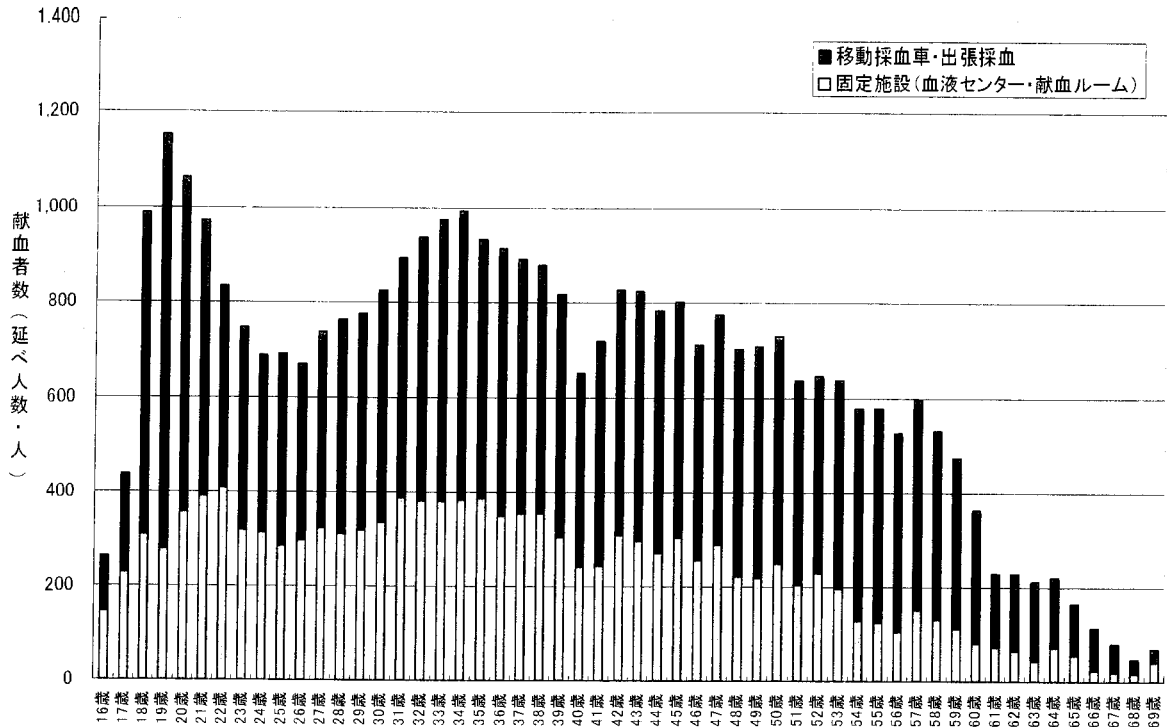
一方、16～19歳、50歳代後半～60歳代前半は、移動採血車・出張採血の割合が59～65%とやや高い。

● 血液センター、献血ルーム数(平成20年4月1日現在)

血液センター : 3カ所

献血ルーム : 9カ所

H19年 高知県内の施設別献血者数



● 延べ献血者数 35,021人

移動採血車・出張採血 22,287人（63.7%）

固定施設（血液センター・献血ルーム）12,715人（36.3%）

● 年齢別に見る施設別献血者数

16、17、69歳で固定施設の割合が52～60%であることを除き、移動採血車・出張採血の割合が高い（おおむね60～70%代後半）。

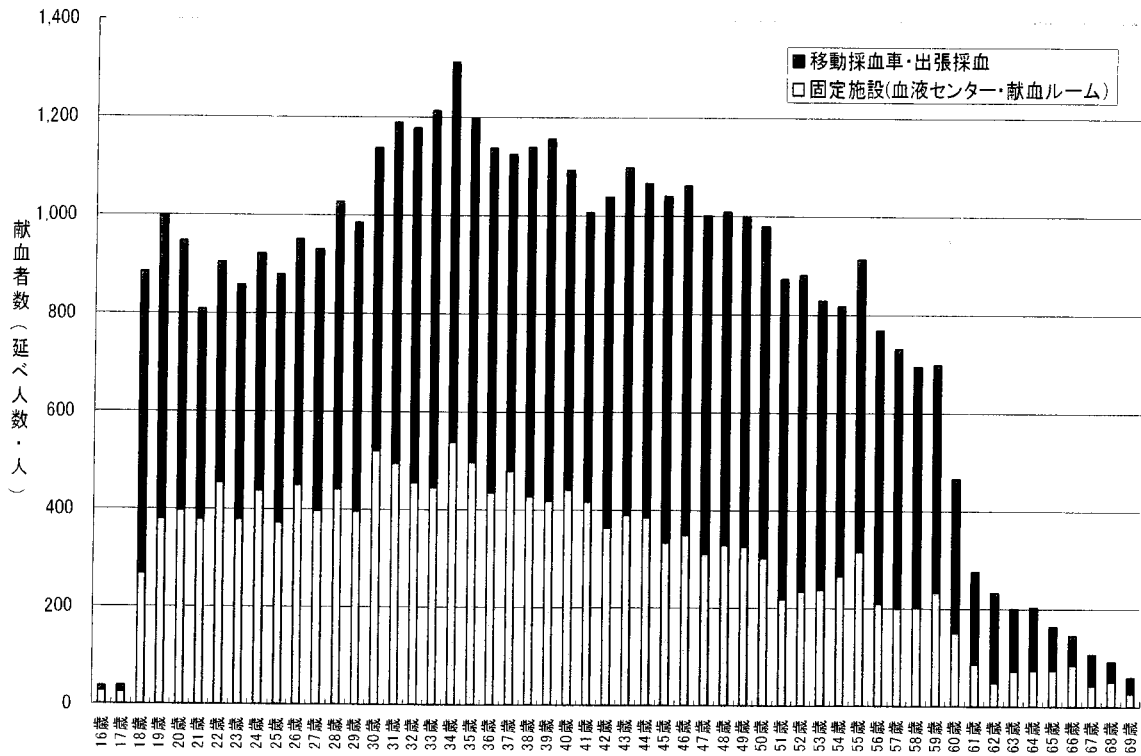
19歳と50歳代後半～60歳代後半にかけて、移動採血車・出張採血の割合が高い年齢層（74～79%）が見られる。

● 血液センター、献血ルーム数（平成20年4月1日現在）

血液センター：1カ所

献血ルーム：1カ所

H19年 宮崎県内の施設別献血者数



● 延べ献血者数 43,497人

移動採血車・出張採血 27,164人 (62.5%)

固定施設(血液センター・献血ルーム) 16,312人 (37.5%)

● 年齢別に見る施設別献血者数

16歳、17歳で固定施設の割合が75.0%、67.6%と高いことを除き、特に50歳代から60歳代前半にかけて、移動採血車・出張採血の割合が高い年齢層（おおむね60～70年代後半）が見られる。

● 血液センター、献血ルーム数（平成20年4月1日現在）

血液センター：1カ所

献血ルーム：1カ所